

### 平26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 事業名           | 善光寺街道400年記念事業              |
| 事業主体<br>(連絡先) | 善光寺街道協議会<br>090-2160-6840  |
| 事業区分          | (6) ア 特色ある観光地づくり           |
| 事業タイプ         | ソフト                        |
| 総事業費          | 646,638円 (うち支援金: 472,000円) |

#### 事業内容

巡礼道の史跡等を紹介するパネルや写真を制作し、善光寺街道のパネル展を開催。善光寺御開帳期間に街道沿線を巡廻展示した。

また、善光寺御開帳を契機に街道歩きの県外者受け入れの仕組みとして、街道沿線の宿泊施設を利用した連泊によるツアーを企画。この仕組みをPRすることを目的としたシンポジウム『善光寺巡礼』を開催した。



【シンポジウム「善光寺巡礼」での  
絵解き口演】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①善光寺街道を地域横断の共有資源として認識を深める。

善光寺御開帳の年ということもあり、シンポジウムへの参加者は130名を超えた。これまで中信地域における善光寺御開帳への関心は、けっして高いとは言えなかった。今回の「絵解き」口演も初めて見る人が多く、善光寺とともに街道への理解が深まった意義は大きい。パネル写真展においては、塩尻市洗馬宿から善光寺まで全域を網羅できた。視覚的に街道を理解する点ではこれまでにない成果となった。

②県外から善光寺街道を歩きに来るための仕組みを開発する。

県内からは歩き旅ツアーへの参加希望があった。

#### 【目標・ねらい】

- ① 善光寺街道を地域横断の共有資源として認識を深める。
- ② 県外から善光寺街道を歩きに来るための仕組みを開発する。

#### ※自己評価【C】

#### 【理由】

①は満足のいく結果が得られたが、②においては県外からの反応が得られていない。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

善光寺街道は塩尻市から善光寺の間で完結するものではなく、伊那街道や木曽路、さらには名古屋へ及ぶ下街道も含むことが可能である。これが全国から参拝者を集めた善光寺信仰の強みであり、街道の付加価値として生かさなければならない。今回愛知県春日井市における下街道のシンポジウムに参加し、少なからずそのような認識の共感を得た。

近年全国の街道が地域資源として注目されるようになり、当然その先にはそれぞれ街道の差別化が課題となることが考えられる。今後は長野・岐阜・愛知にわたる広域の連携を視野に、街道沿線による「善光寺巡礼」の文化圏づくりを目指して発信する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある